

1 地域別延焼危険度測定について

◆ 測定の目的等

震災時における火災の被害を軽減するためには、地域ごとの火災の危険性を把握し、これに応じた対策を講じる必要があります。

地域別延焼危険度測定とは、東京都震災対策条例第12条に基づき、震災時に発生した火災が燃え広がる危険性を地域ごとに評価するものです。これまで、昭和48年に特別区、昭和50年に多摩地区について第1回目の測定を実施して以来、市街化の進展や都市の不燃化などの変化に合わせて、おおむね5年ごとに実施し公表してきました(表1)。

測定結果については、消防水利の整備計画、震災消防計画等に活用されるほか、東京都の地域危険度測定調査の基礎データとして利用される等、各種の震災対策用資料に反映されています。

なお、地域別延焼危険度測定には、二通りの測定単位(町丁目と250mメッシュ)があります。測定単位によって結果の使用目的と意味に違いがあるため(表2)、それぞれの結果の算出方法は多少異なります。

また、震災時において、建物が倒壊して道路を閉塞することで、消防水利が使用不能となることや消防隊等の到達に影響することを消火活動の困難性として表した「震災時の消火活動困難度」について、第5回目の測定を実施しました。

表1 地域別延焼危険度測定実施年一覧

測定回数	特別区		多摩地区	
	測定年度	公表年月	測定年度	公表年月
第1回	昭和48年度	昭和49年3月	昭和50年度	昭和52年3月
第2回	昭和55年度	昭和57年3月	昭和57年度	昭和59年3月
第3回	昭和61年度	昭和62年3月	—	—
第4回	平成2年度	平成3年3月	平成2年度	平成3年3月
第5回	平成8年度	平成9年3月	平成8年度	平成9年3月
第6回	平成13年度	平成14年3月	平成13年度	平成14年3月
第7回	平成18年度	平成19年3月	平成18年度	平成19年3月
第8回	平成23年度	平成24年3月	平成23年度	平成24年3月
第9回	平成27年度	平成28年3月	平成27年度	平成28年3月
第10回	令和元年度	令和2年3月	令和元年度	令和2年3月

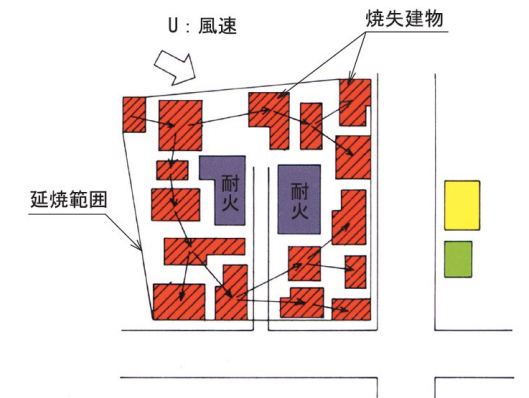
表2 測定単位別の使用目的と意味

測定単位	使用目的	意味
町丁目	出火防止・初期消火対策 震災消防計画	出火点が1件ある場合の地域の燃え広がるの危険性
250mメッシュ	消防水利の整備計画	地域の燃え広がりに加えて出火可能性を同時に考慮した危険性

◆ 用語の解説

本冊子における主な用語は次のとおりです。

- 延焼面積**
右図において、焼失建物を囲む最も外側の範囲(延焼範囲)の市街地面積を延焼面積としています。
- 焼失面積**
右図において、延焼範囲内にある焼失建物の延べ床面積(耐火造建物は1フロア分の床面積)の合計を焼失面積としています。
- 延焼シミュレーション**
建物、道路、空地の状況を元にして出火点を設定することで時間経過に伴う火災の燃え広がりを計算し、表現するプログラムのことです。
- 地域の延焼危険度**
延焼シミュレーションにより出火から6時間後の平均的な延焼面積を求め、危険度のランクとして表したものです。
- 建築物の焼失危険度**
延焼シミュレーションにより出火から6時間後の平均的な焼失面積を求め、危険度のランクとして表したものです。
- 震災時の消火活動困難度**
震災時における消防車両の通行不能等による消火活動の困難性を表したものの。延焼危険度、消防水利の有効性、消防隊等の到達性の3つの要素から評価しました。
- 消防水利の有効性**
震災時における道路閉塞等の影響を考慮して、地域ごとに消防水利の効力を評価しました。
- 消防隊等の到達性**
震災時における道路閉塞等の影響を考慮して、地域ごとに消防隊や消防団の到達時間を評価しました。
- 250mメッシュ**
地表面を一定のルールに従い多数の正方形に分割したものをメッシュといいます。本測定では国土調査法施行令(昭和27年政令第59号)第2条による第IX座標(日本測地系、北緯36度00分、東経139度50分・千葉県野田市中里付近)の地点を基準とした250mメッシュを用いています。
なお、基準から東へ9km、南に16kmの地点(千葉県流山市野々下付近)を0として南西方向に昇順に付番しています。
- 建物構造**
建築物の構造を防火性能によって木造、防火造、準耐火造及び耐火造の4種類に分類しています。



◆ 基礎調査

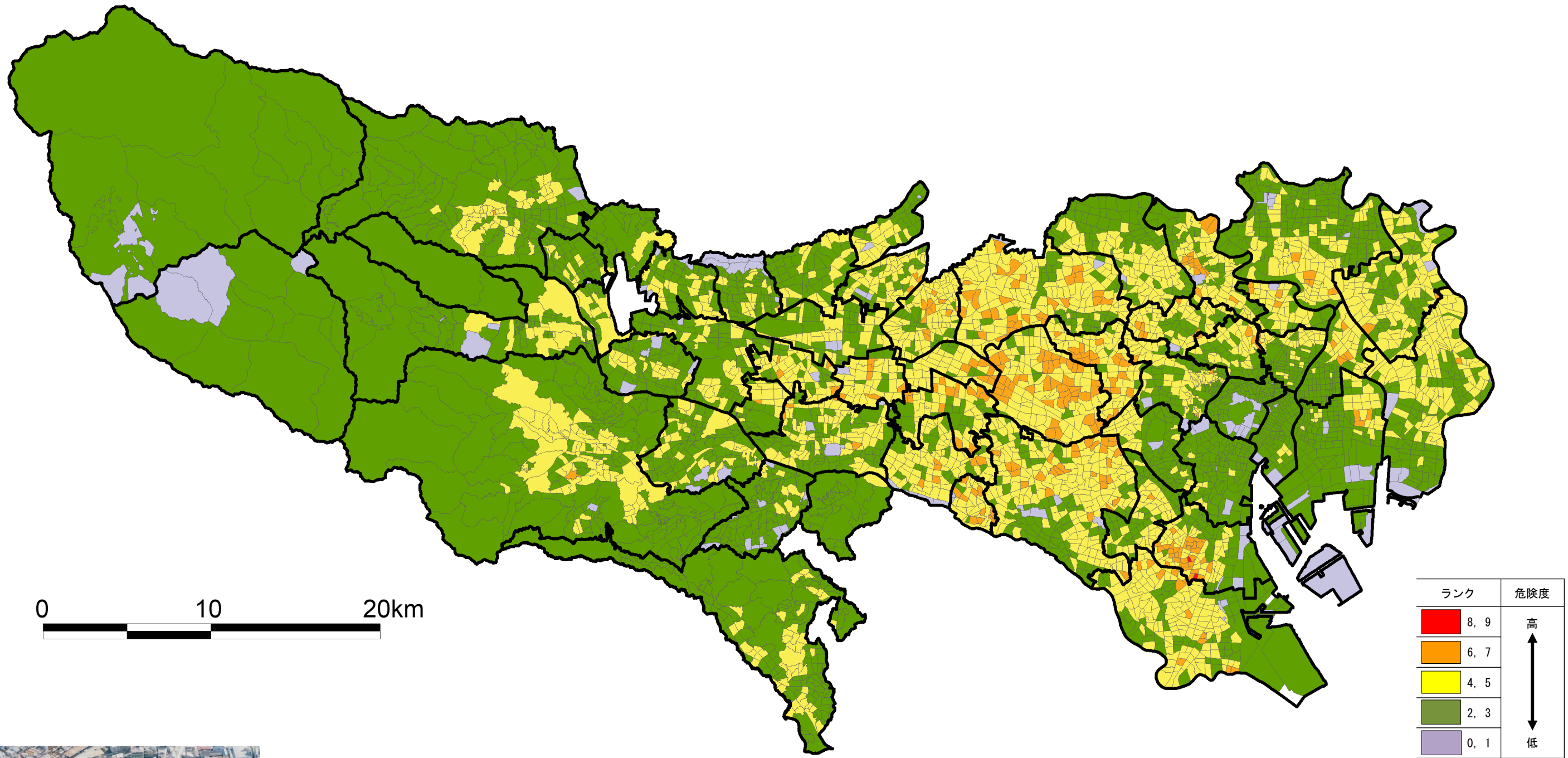
測定にあたって、島しょ地域及び多摩地域の一部を除く東京都全域について、市街地状況調査を実施しました。

市街地状況調査では、東京都都市計画情報システムデータを用い、東京都内の建物の位置、形状、構造、階層及び道路、空地等の位置、形状について、データを整備しました。

なお、東京都都市計画情報システムデータの作成時期は特別区が平成28年度、多摩地区が平成29年度です。

2 地域の延焼危険度

◆地域の延焼危険度（町丁目単位）



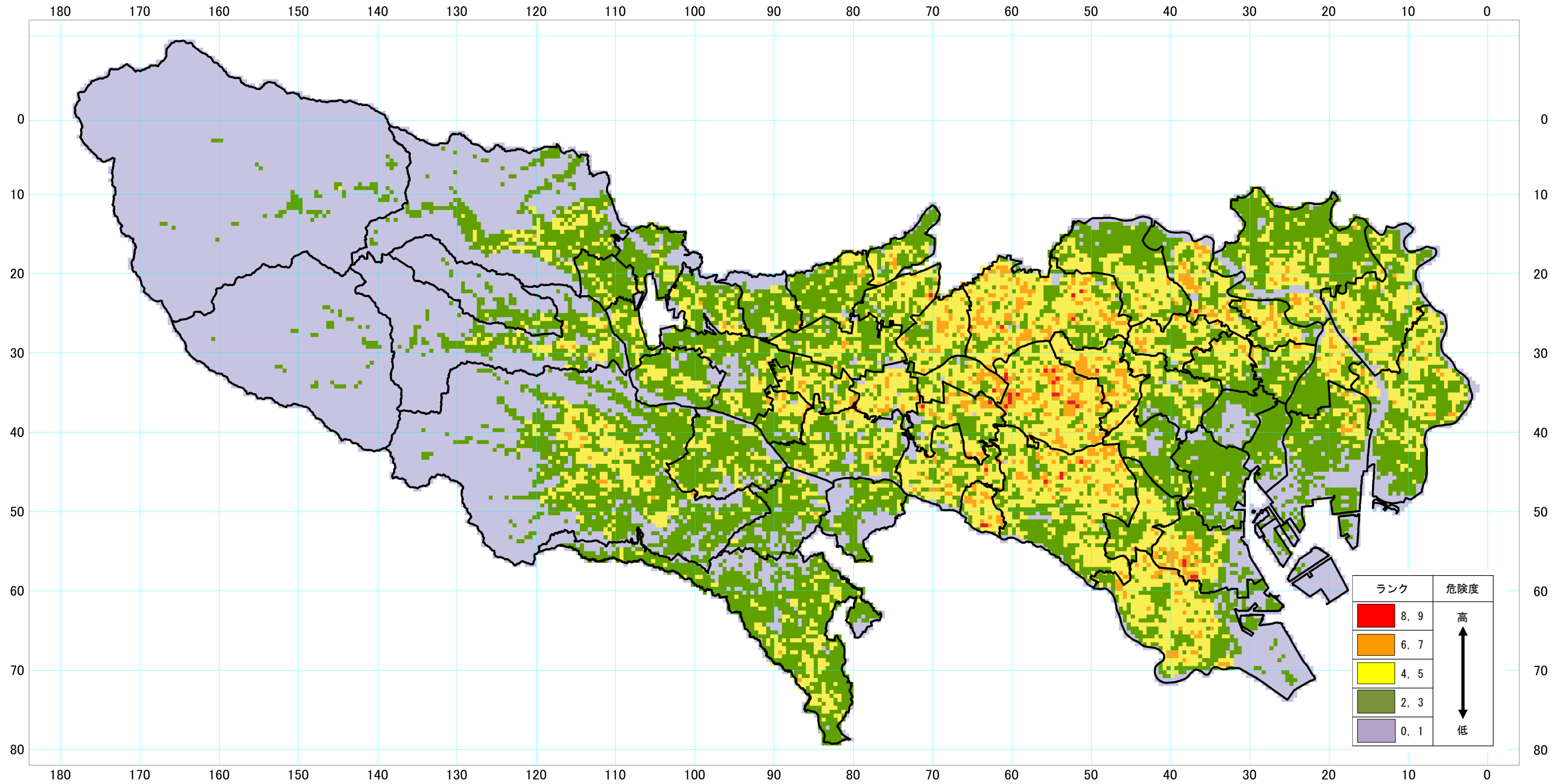
【概要】

町丁目内で1件の建物火災が発生した場合、6時間後に平均でどの程度燃え広がるかを危険度のランクとして評価しました。

【結果】

- ・特別区の西部では環状7号線と環状8号線に挟まれる地域やその沿線、中央線沿線等の地域で延焼危険度が高くなっています。
- ・特別区の東部では明治通り沿いや荒川沿いの地域など延焼危険度が高い地域が点在しています。
- ・多摩地域では、特別区との境界付近やJR中央線沿線の市街地をはじめとした地域で延焼危険度が高くなっています。
- ・木造や防火造建物が密集している地域、広幅員道路や空地が少ない地域では延焼危険度が高くなる傾向があります。

◆地域の延焼危険度（250mメッシュ単位）



【概要】

250mメッシュ内に1件の建物火災が発生した場合の6時間後の延焼面積と出火可能性を同時に考慮して危険度のランクとして評価しました。

【結果】

- 延焼危険度（250mメッシュ）が高い地域は、地域の延焼危険度（町丁目）と同様ですが、河川敷や公園などの空地の多い地域で危険度が低くなっています。
- 宅地開発などで住宅が短期間で増加した地域で従来よりも延焼危険度が高くなっている傾向にあります。

◆ 区市町村別延焼危険度一覧表

出火から6時間後の延焼面積の平均値を区市町村ごとに求め、延焼危険度のランクで評価しました。また、メッシュごとの延焼危険度ランクを区市町村ごとに集計し、それぞれの割合(%)を求めました。

なお、消防署管轄別延焼危険度一覧表は、この表と同様にして消防署管轄ごとに集計したものです。

延焼危険度(特別区)

区名	平均延焼面積(m ²) (危険度ランク)	ランク別メッシュ数(上段)およびその割合(%)																			
		低									高										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9										
千代田区	597.4m ² (2)	5	71	91	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央区	1,214.3m ² (2)	16	28	94	30	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
港区	1,368.3m ² (2)	21	62	175	86	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新宿区	6,334.3m ² (4)	0	24	59	86	94	28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文京区	7,944.6m ² (4)	0	2	35	58	60	19	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
台東区	6,988.1m ² (4)	0	9	26	64	44	11	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
墨田区	8,145.5m ² (4)	6	12	45	71	45	30	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江東区	2,367.9m ² (3)	103	199	234	128	50	17	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
品川区	12,728.6m ² (4)	23	69	87	43	52	59	39	12	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
目黒区	7,322.1m ² (4)	0	2	21	97	87	24	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大田区	7,028.1m ² (4)	291	86	145	154	214	125	47	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世田谷区	12,648.3m ² (4)	26	17	75	232	329	174	69	16	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渋谷区	4,751.5m ² (3)	2	22	68	85	45	19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中野区	21,399.0m ² (5)	0	1	7	30	81	66	41	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉並区	25,008.2m ² (5)	0	0	7	69	191	132	91	42	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊島区	10,655.2m ² (4)	0	3	35	43	78	33	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北区	11,493.2m ² (4)	30	24	43	75	75	56	36	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
荒川区	12,195.4m ² (4)	0	10	22	32	40	38	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
板橋区	6,381.1m ² (4)	25	20	108	167	143	63	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
練馬区	17,500.4m ² (5)	13	17	43	141	255	189	109	26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
足立区	5,449.5m ² (4)	43	57	188	355	169	67	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛飾区	6,858.9m ² (4)	51	34	59	183	185	64	11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江戸川区	5,466.8m ² (4)	105	70	137	224	220	57	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央防波堤	22.4m ² (1)	121	23	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

延焼危険度(多摩地区)

区名	平均延焼面積(m ²) (危険度ランク)	ランク別メッシュ数(上段)およびその割合(%)																			
		低									高										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9										
八王子市	2,177.8m ² (3)	1059	543	528	528	275	68	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立川市	3,833.9m ² (3)	20	50	106	134	62	17	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
武蔵野市	14,539.0m ² (4)	0	5	10	37	64	31	21	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三鷹市	14,793.7m ² (4)	0	16	25	62	81	40	27	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青梅市	1,071.5m ² (2)	883	310	206	197	100	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
府中市	6,335.4m ² (4)	20	44	83	139	127	45	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭島市	3,236.0m ² (3)	32	36	65	84	49	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調布市	10,424.0m ² (4)	23	17	29	78	131	56	19	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町田市	2,644.2m ² (3)	98	219	372	419	160	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小金井市	14,338.8m ² (4)	4	13	6	26	72	40	17	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小平市	5,602.3m ² (4)	3	11	68	118	99	18	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日野市	3,486.6m ² (3)	20	47	118	150	92	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東村山市	4,787.1m ² (3)	11	9	67	121	64	12	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国分寺市	10,609.5m ² (4)	0	3	23	49	72	29	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国立市	7,873.0m ² (4)	0	7	30	37	37	12	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福生市	4,426.4m ² (3)	6	7	13	60	34	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狛江市	20,899.3m ² (5)	11	2	3	10	31	30	16	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東大和市	3,179.2m ² (3)	56	14	50	66	36	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清瀬市	5,174.7m ² (4)	17	20	39	63	42	9	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東久留米市	8,594.2m ² (4)	3	6	26	67	86	22	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
武蔵村山市	4,575.8m ² (3)	30	20	42	77	60	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多摩市	1,757.8m ² (3)	30	79	130	75	28	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稲城市	1,618.0m ² (3)	59	68	85	77	19	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
羽村市	3,269.5m ² (3)	3	10	39	76	24	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あきる野市	1,367.2m ² (2)	605	223	129	120	79	13	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西東京市	14,907.9m ² (4)	1	3	16	49	97	61	29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂町	1,858.2m ² (3)	44	55	91	51	19	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日の出町	608.5m ² (2)	223	115	73	32	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
檜原村	26.5m ² (1)	1475	211	37	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奥多摩町	26.7m ² (1)	3378	266	56	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※2つ以上の区市町村にかかるメッシュについては、代表的な区市町村の集計に含めています。
 ※※割合は小数点以下第二位を四捨五入した値です。

消防署管轄別延焼危険度一覧表

延焼危険度（特別区）

消防署名	平均延焼面積 (m ²) (危険度ランク)	ランク別メッシュ数 (上段) およびその割合%												
		低												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
丸の内消防署	211.2㎡ (1)	3	44	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麹町消防署	515.2㎡ (2)	2	26	43	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神田消防署	1,229.2㎡ (2)	0	1	32	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京橋消防署	1,098.6㎡ (2)	2	11	37	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
日本橋消防署	1,056.5㎡ (2)	0	3	40	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨港消防署	407.4㎡ (2)	153	37	21	12	3	1	0	0	0	0	0	0	0
芝消防署	971.3㎡ (2)	15	20	78	19	3	0	0	0	0	0	0	0	0
麻布消防署	1,952.9㎡ (3)	0	2	32	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0
赤坂消防署	1,295.1㎡ (2)	0	14	33	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高輪消防署	1,701.1㎡ (3)	4	23	32	25	6	0	0	0	0	0	0	0	0
品川消防署	6,020.8㎡ (4)	3	23	44	30	21	11	6	1	0	0	0	0	0
大井消防署	9,098.9㎡ (4)	19	46	43	6	12	17	8	4	1	1	1	1	1
荏原消防署	29,376.5㎡ (5)	0	0	0	7	19	31	25	7	2	0	0	0	0
大森消防署	8,760.7㎡ (4)	28	42	74	39	52	57	18	2	0	0	0	0	0
田園調布消防署	12,248.4㎡ (4)	8	5	8	50	69	39	14	4	0	0	0	0	0
蒲田消防署	3,360.8㎡ (3)	238	31	47	37	52	16	10	2	0	0	0	0	0
矢口消防署	7,166.4㎡ (4)	23	4	14	28	41	13	5	0	0	0	0	0	0
目黒消防署	7,322.1㎡ (4)	0	2	21	97	87	24	3	2	0	0	0	0	0
世田谷消防署	19,520.9㎡ (5)	0	0	9	49	127	100	46	13	3	0	0	0	0
玉川消防署	7,043.9㎡ (4)	13	4	33	84	99	25	4	1	0	0	0	0	0
成城消防署	9,904.9㎡ (4)	13	13	33	99	103	49	19	2	0	1	0	0	0
渋谷消防署	4,751.5㎡ (3)	2	22	68	85	45	19	2	0	0	0	0	0	0
四谷消防署	4,044.2㎡ (3)	0	10	14	12	13	2	0	0	0	0	0	0	0
牛込消防署	5,914.2㎡ (4)	0	5	17	29	23	7	2	0	0	0	0	0	0
新宿消防署	7,276.3㎡ (4)	0	9	28	45	58	19	2	0	0	0	0	0	0
中野消防署	19,404.5㎡ (5)	0	0	5	14	34	25	21	3	0	0	0	0	0
野方消防署	22,873.1㎡ (5)	0	1	2	16	47	41	20	10	1	0	0	0	0
杉並消防署	24,785.3㎡ (5)	0	0	5	29	107	82	56	25	5	0	0	0	0
荻窪消防署	25,296.4㎡ (5)	0	0	2	40	84	50	35	17	11	0	0	0	0
小石川消防署	6,881.4㎡ (4)	0	1	19	36	39	6	2	1	0	0	0	0	0
本郷消防署	9,380.5㎡ (4)	0	1	16	22	21	13	3	1	0	0	0	0	0
豊島消防署	8,607.2㎡ (4)	0	3	23	24	35	16	5	0	0	0	0	0	0
池袋消防署	12,783.5㎡ (4)	0	0	12	19	43	17	11	0	0	0	0	0	0
王子消防署	14,948.1㎡ (4)	2	9	7	21	21	21	12	4	0	0	0	0	0
赤羽消防署	7,634.8㎡ (4)	28	14	31	36	24	20	11	1	0	0	0	0	0
滝野川消防署	15,126.0㎡ (5)	0	1	5	18	30	15	13	0	1	0	0	0	0
板橋消防署	9,874.1㎡ (4)	0	1	11	45	64	31	6	0	0	0	0	0	0
志村消防署	4,913.3㎡ (3)	25	19	97	122	79	32	2	0	0	0	0	0	0
練馬消防署	15,834.3㎡ (5)	0	1	12	62	71	48	26	4	3	0	0	0	0
光が丘消防署	12,734.1㎡ (4)	4	7	22	26	66	33	16	3	0	0	0	0	0
石神井消防署	20,601.5㎡ (5)	9	9	9	53	118	108	67	19	2	0	0	0	0

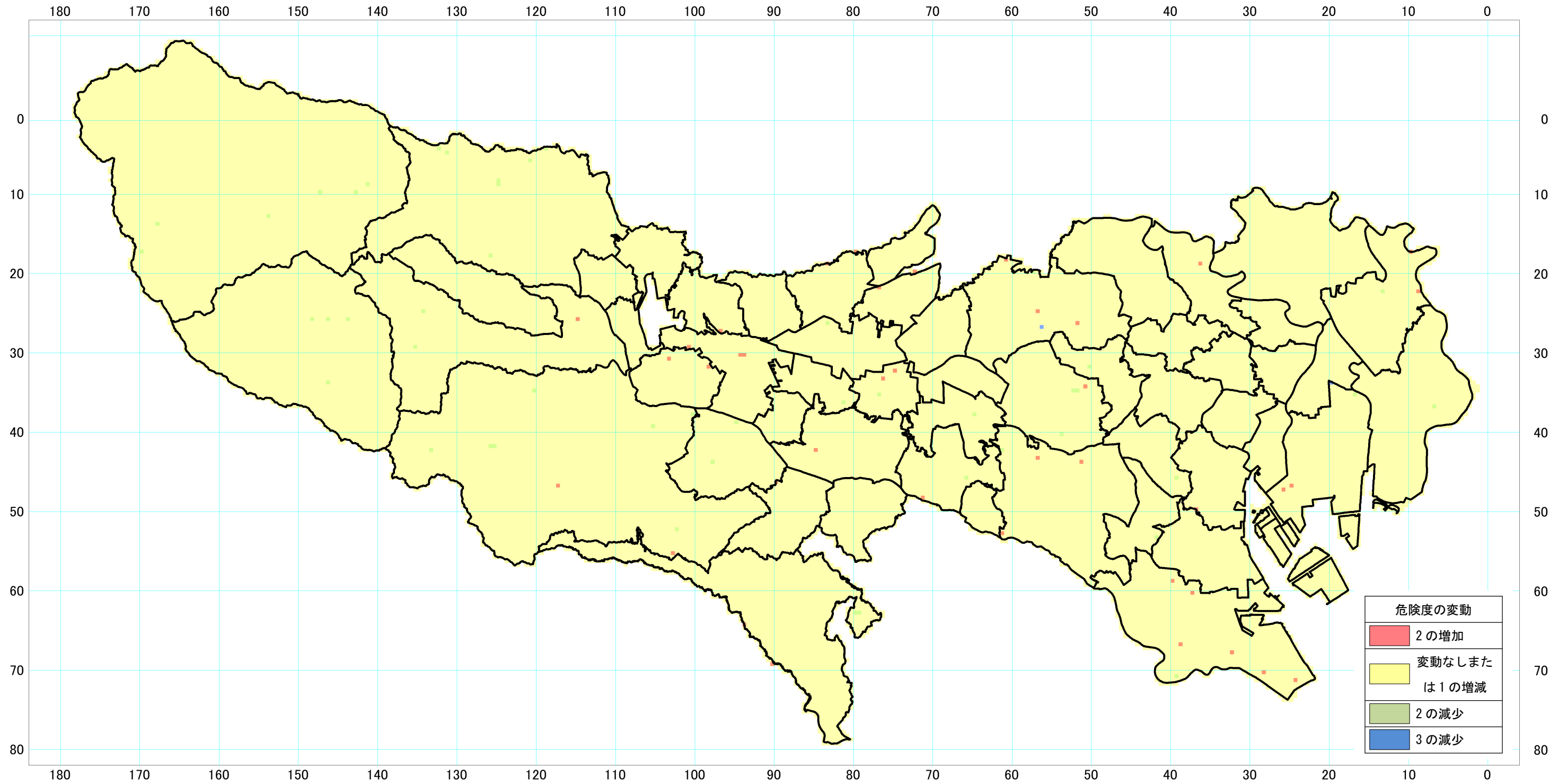
消防署名	平均延焼面積 (m ²) (危険度ランク)	ランク別メッシュ数 (上段) およびその割合%												
		低												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
上野消防署	7,502.3㎡ (4)	0	5	18	30	15	6	6	0	0	0	0	0	0
浅草消防署	4,463.6㎡ (3)	0	1	6	18	11	1	0	0	0	0	0	0	0
日本堤消防署	8,149.8㎡ (4)	0	3	2	16	18	4	2	0	0	0	0	0	0
荒川消防署	10,539.6㎡ (4)	0	8	20	17	26	20	8	0	0	0	0	0	0
尾久消防署	14,927.6㎡ (4)	0	2	2	15	14	18	9	0	0	0	0	0	0
千住消防署	8,419.9㎡ (4)	22	18	24	20	33	17	11	0	0	0	0	0	0
足立消防署	4,434.8㎡ (3)	5	16	98	186	85	21	3	0	0	0	0	0	0
西新井消防署	5,427.9㎡ (4)	16	23	66	148	51	29	7	1	0	0	0	0	0
本所消防署	2,439.6㎡ (3)	0	2	40	55	5	1	0	0	0	0	0	0	0
向島消防署	13,126.0㎡ (4)	6	10	5	16	40	29	10	2	0	0	0	0	0
深川消防署	959.0㎡ (2)	62	122	139	68	16	0	0	0	0	0	0	0	0
城東消防署	4,079.8㎡ (3)	40	78	95	60	34	17	9	2	0	0	0	0	0
本田消防署	8,459.0㎡ (4)	13	10	28	103	114	46	9	0	1	0	0	0	0
金町消防署	4,884.7㎡ (3)	38	24	31	81	71	18	2	0	0	0	0	0	0
江戸川消防署	6,961.4㎡ (4)	29	14	36	79	86	24	10	0	0	0	0	0	0
葛西消防署	2,528.7㎡ (3)	27	50	82	77	41	5	0	0	0	0	0	0	0
小岩消防署	7,293.9㎡ (4)	38	6	19	68	93	28	7	0	0	0	0	0	0

延焼危険度（多摩地区）

消防署名	平均延焼面積 (m ²) (危険度ランク)	ランク別メッシュ数 (上段) およびその割合%												
		低												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
立川消防署	4,843.7㎡ (3)	20	57	136	171	99	29	11	1	0	0	0	0	0
武蔵野消防署	14,539.0㎡ (4)	0	5	10	37	64	31	21	3	1	0	0	0	0
三鷹消防署	14,793.7㎡ (4)	0	16	25	62	81	40	27	9	3	0	0	0	0
府中消防署	6,335.4㎡ (4)	20	44	83	139	127	45	7	1	0	0	0	0	0
昭島消防署	3,236.0㎡ (3)	32	36	65	84	49	10	0	0	0	0	0	0	0
調布消防署	10,424.0㎡ (4)	23	17	29	78	131	56	19	3	1	0	0	0	0
小金井消防署	14,338.8㎡ (4)	4	13	6	26	72	40	17	3	0	0	0	0	0
小平消防署	5,602.3㎡ (4)	3	11	68	118	99	18	4	0	0	0	0	0	0
東村山消防署	4,773.7㎡ (3)	11	9	67	123	64	12	6	0	0	0	0	0	0
国分寺消防署	10,609.5㎡ (4)	0	3	23	49	72	29	11	1	0	0	0	0	0
狛江消防署	20,899.3㎡ (5)	11	2	3	10	31	30	16	5	2	0	0	0	0
北多摩西部消防署	3,891.4㎡ (3)	87	34	92	143	96	16	6	0	0	0	0	0	0
清瀬消防署	5,198.9㎡ (4)	17	20	39	61	42	9	7	0	0	0	0	0	0
東久留米消防署	8,594.2㎡ (4)	3	6	26	67	86	22	8	0	1	0	0	0	0
西東京消防署	14,907.9㎡ (4)	1	3	16	49	97	61	29	5	0	0	0	0	0
八王子消防署	2,178.6㎡ (3)	1,058	543	528	528	275	68	14	4	0	0	0	0	0
青梅消防署	1,072.2㎡ (2)	882	310	206	197	100	11	1	0	0	0	0	0	0
町田消防署	2,641.6㎡ (3)	100	219	371	419	160	24	2	0	0	0	0	0	0
日野消防署	3,486.6㎡ (3)	20	47	118	150	92	12	0	0	0	0	0	0	0
福生消防署	2,848.0㎡ (3)	52	72	143	187	77	10	1	0	0	0	0	0	0
多摩消防署	1,757.8㎡ (3)	30	79	130	75	28	2	1	0	0	0	0	0	0
秋川消防署	575.3㎡ (2)	2,299	549	239	156	84	17	6	0	0	0	0	0	0
奥多摩消防署	26.8㎡ (1)	3,368	265	56	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0
稲城消防署	1,618.0㎡ (3)	59	68	85	77	19	4	0	0	0	0	0	0	0

※2つ以上の消防署管轄にかかるメッシュについては、代表的な管轄の集計に含めています。
※割合は小数点以下第二位を四捨五入した値です。

◆ 延焼危険度の推移（250mメッシュ単位）



【概要】

250mメッシュごとの地域の延焼危険度を前回（第9回）と比較したものです。市街地の変化等による危険性の変化を表しています。

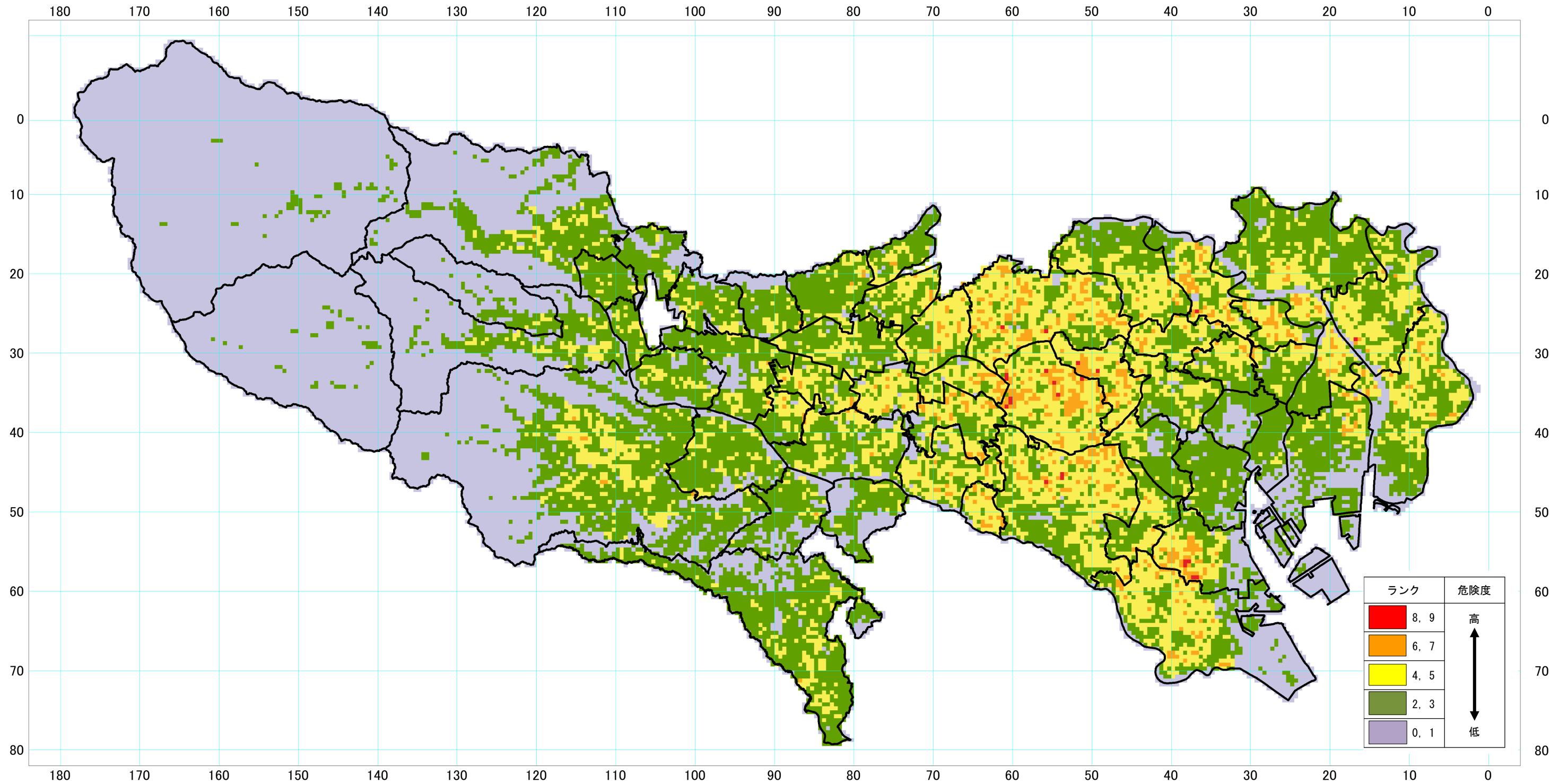
危険度が増加する要因としては、空地等の宅地化による住宅の増加、建替えによる密集度の増加などが挙げられます。また、GISデータの精度が向上したことによって、より実際の市街地に即した危険度の判定が可能となったことで精緻な結果が得られています。

【結果】

- 全体として延焼危険度に大きな変化は見られませんでした。一部の地域で2の増加が見られました。
- 特別区では、練馬区、世田谷区、大田区、などをはじめとした地域で延焼危険度が増加している状況がみられます。住宅の増加等で延焼が広がりやすくなったことが主な要因です。
- 多摩地区では、新しく住宅街が形成された地域などで延焼危険度が高くなっています。

3 建築物の焼失危険度

◆ 建築物の焼失危険度（250mメッシュ単位）



【概要】

250mメッシュ内に1件の建物火災が発生した場合の6時間後の焼失面積と出火可能性を同時に考慮して危険度のランクとして評価したものです。

【結果】

・ 建築物の焼失危険度が高い地域は、延焼危険度と同様です。